

# 創刊にあたり



一般社団法人  
プレストレスト・コンクリート建設業協会 会長

## 則久 芳行

### 「PCプレス」の創刊にあたって

PCプレス創刊にあたり、官・学・民各界の皆様方から日頃賜っていますご指導、ご支援に対してPC建設業協会会員を代表して改めて厚くお礼申し上げます。

PC（プレストレスト・コンクリート）の技術は、我が国では戦後になって実用化が始まったものですが、今日では、橋梁に限らず空港・港湾、河川等の構造物に、また建築、容器や各種の防災施設にと幅広く活用されるようになっております。このPCの技術は、耐久性や環境負荷低減に優れる本来の特性に加え、先の大震災を受け重要視されるようになった粘り強さ、あるいはさまざまな既存構造物の補強、長寿命化に適用する技術であること、更には材料や労働力の大半が現地調達可能な地域経済還元型であることなどから、国土の強靱化、既存ストックの長寿命化、そして持続型社会の構築を課題とする今日の、あるいはこれからの社会基盤整備において、より大きな貢献を果たすものと考えております。

私たちは、このようなPC技術を社会に適切に提供していくことを使命とし、そのために、専門技術力に研ぎをかけ、更なる品質の向上や多様なビジネスに取り組みることとしております。しかし、PCの技術を効果的に活用していくには、発注者の皆様や設計に携わる皆様をはじめ施設の建設や管理に携わる多くの皆様の、さらに

言えば、社会全体のご理解をいただくことが必要と考えております。

このようなことから、PC建協は、社会全体に広くPCの魅力を伝え、理解を深めていただくことを目的に、この度、広報誌PCプレスを発刊することといたしました。PCというとパソコンのことかと思われる世の中にあつて、あえて誌名にPCを用いたのは、PCにはプレストレスト・コンクリートの意味もあることを知って欲しいとの私どもの意気込みであります。PCプレスは、PCの直接の関係者ばかりでなく建設関係全体での社会人や学生の皆様に幅広く関心を持って読んでいただける内容といたします。PCプレスを通じてより多くのPCファンが生まれることを願っております。

PC建協は、この4月1日から一般社団法人PC建協に移行しました。1955年にPC工業協会として誕生し、1973年に前身の社団法人PC建協に改組して以来の再出発であります。その第一弾としての新たな取り組みがPCプレスの発刊です。新たなPC建協は、これまでと変わりがなく、PC技術の普及そして社会基盤の整備への貢献という社会的使命を果たすべく取り組んで参りますので、引き続き関係各位のご指導、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



国土交通省技監

菊川 滋

## 社会資本の戦略的な 維持管理の実現に向けて

新たな広報誌の創刊を、心よりお慶び申し上げます。

さて、わが国の社会資本は、戦後の高度経済成長期に集中的に整備され、現在急速に老朽化が進んでいます。社会資本の老朽化は重大な事故等のリスクを高めるため、国民の命を守る観点から、戦略的に取り組んでいく必要があります。

社会資本の老朽化対策の第一歩は、社会資本の実態を知ることです。国土交通省においては、平成24年度補正予算等を活用し、安全性の徹底調査・総点検等を実施するとともに、社会資本情報プラットフォームの整備等に着手することとしています。

また、技術開発等も必要不可欠です。第3期国土交通省技術基本計画において、重点プロジェクトとして「社会資本の維持管理・更新プロジェクト」等を位置

づけたところであり、PC構造物を含めた社会資本の長寿命化等に資する技術開発や新技術の導入等を重点的に進めていく必要があります。

社会資本の安全性に対する信頼を取り戻すために、維持管理・更新に軸足を置いた組織・制度への転換も視野に、国土交通省一丸となって取り組んで参ります。一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会の皆様におかれましても、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



公益社団法人  
プレストレストコンクリート工学会 会長

## 宮川 豊章

### 宣伝から広報へ PC建協広報誌「PCプレス」の創刊に寄せて

私はコンクリートなかでもプレストレストコンクリート(PC)が好きである。これは決して私の専門がコンクリートであるからではない。コンクリートは丈夫で美しく長持ちするようさまざまなかたちのものを容易に造ることができ、PCにはこれからも豊かな可能性があるからである。

PCと言えば何を市民は考えるだろうか？先ずはパソコンであろう。土木建築に少しは縁のある人であってもプレキャスト製品を連想するぐらいの人も意外に多いのではなからうか？ましてや一般の市民に対するPCの浸透度はきわめて低いと言つてよい。

しかも今の社会は「良いもの」であるだけでは普及せず、いかに「良いもの」であるかを伝え、「良いもの」を欲しいと思っている市民にアピールする必要がある時代になっている。単なる宣伝ではなく広報が必要なのだ。

この度広報誌を創刊されると聞いた。あの山本夏彦翁も、土木は宣伝・広報が下手で世間に知られない、と嘆いて書いておられた。PC建設業内部のみではなく、市民が楽しめる豊かな情報発信になると喜ばしいと思っている。

PCプレスに期待するところ大なのである。



プレストレスト・コンクリート工事業協会  
会長/理事長

## 小瀬谷 末義

### PC建協広報誌 「PCプレス」の創刊に寄せて

日頃より当協会活動へのご理解とご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

また、この度の新しい広報誌の創刊にあたって、拙文を寄稿させていただく機会に恵まれ、当協会の名前も同時に広報されますことに心より感謝申し上げます。

当協会の事業・活動について述べさせていただきますが、平成25年4月1日現在の当協会の会員数は、正会員125社、賛助会員24社、登録PC基幹技能者は604名になっております。

いまだ道、中半という状況ですので、一現場に一名以上の登録PC基幹技能者の常駐(1000名)実現を目指して、育成・確保に今後も邁進して参ります。

また、平成24年度より5年計画でスタートした国土交通省が主導する「社会保険未加入対策」につきましては、従業員の健康と将来の生活基盤の安定をめざし、若年労働者の入職が促進されるよう、取り組んで参りたいと思存します。

末尾となりましたが、新企画で発行される広報誌が会員の皆様はじめ多くの方々へ愛読されますことを祈念いたします。